

(7) 同じ領域での過去の地震活動との比較

余震域（図 1-1 の領域 a）の範囲について、複数の期間に区切って 1923 年以降の震央分布図を図 7-1 に示す。図 7-1 の領域 a 内の時空間分布図、M-T 図と回数積算図及び月別地震回数を図 7-2 に示す。1923 年以降、東北地方太平洋沖地震前まで、東北地方では 1 ヶ月間に M5.0 以上の地震が 10 回以上発生するような地震活動がいくつも見られている。しかし、東北地方太平洋沖地震は、これまでにない広い範囲で地震活動が活発化し、また、地震回数が多い期間がこれまでになく長く続いている。

図 7-1 (下) 震央分布図 (1923 年~2014 年 3 月 11 日 14 時 45 分、深さすべて、 $M \geq 5.0$)

M7.5 以上の地震に吹き出しをつけた。発震機構は「平成 6 年 (1994 年) 三陸はるか沖地震」以降は CMT 解、それ以前は初動解。領域 a の範囲は図 1-1 と同じ。東北地方太平洋沖地震の近地強震波形による断層すべり分布 (Yoshida et al. (2011)*3 による) のすべり量を細い等値線で表示している。

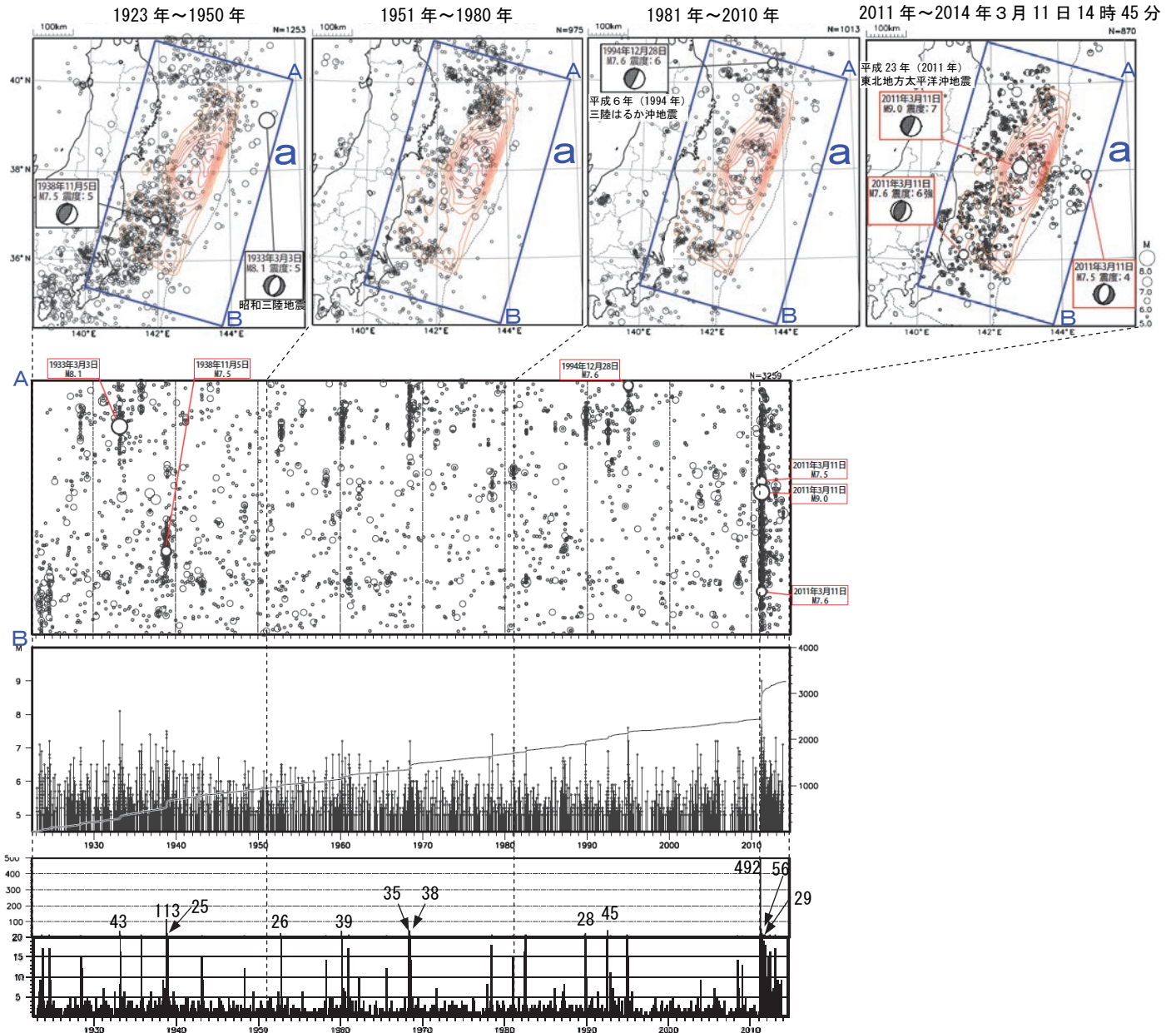


図 7-2 図 7-1 領域 a 内の時空間分布図、M-T 図と回数積算図及び月別地震回数
 上段：時空間分布図 (A-B 投影 M7.5 以上の地震に吹き出しをつけた。)

中段：M-T 図と回数積算図

下段：月別地震回数

20 回以上はスケールを変えて表示している。50 回を超えているのは 1938 年 11 月 (113 回) と 2011 年 3 月 (492 回)、同年 4 月 (56 回) である。